



第 5 回 こあじろの森くらぶ総会

開催日：2020 年 8 月 30 日（日）15：00～15：30

会 場：コロナウイルス感染の拡大により、リモート開催

開会のご挨拶

こあじろの森くらぶ第 5 回総会を開会いたします。

今回はコロナの動向を睨みつつ、リモートでの開催といたしました。初めてのことで、不慣れな点が多々あるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本来ならば、東京オリンピックが終わり感動感激に浸っているところでした。総会に先立ち何度も行われたスタッフ会議も、市の会場が使えない時はビデオ会議やスタッフのメール便を活用してきました。

会員のみなさま、スタッフのみなさまのご協力、ご支援によりまして、今年も無事に「第 5 回 こあじろの森くらぶ」の総会を迎えることができ感謝申し上げます。



リモート総会の様子

今年度最大のニュースは、9 月 8 日の台風 15 号、10 月 12 日の台風 19 号の襲来により、こあじろの森が大きな被害を受けて、長期間閉鎖されたことです。千葉県内では、この台風で頑丈で高い送電線の鉄塔が何本も倒壊しております。記録的な出来事でした。

引き続き、新型コロナウイルスによる長期の閉鎖がありました。

この小網代の森の閉鎖期間中に、引橋側の足場の悪い坂道が舗装道路となり歩き易くなりました。また破損した遊歩道も整備されました。広葉樹の多かった小網代の森が明るくなったような気がします。

コロナによる閉鎖で森に立ち入れない不満を少しでも解消していただこうと、森歩きを体験できる DVD を作成し、疫病退散の願いを込めたアマビエのレーベルでお届けしました。

森の閉鎖は 6 月上旬まで続き、7 月 12 日、ようやく実現した第 22 回交流会「何はなくとも森あるき」では、県花であるヤマユリの花が 4 ケ所で咲いていました。

また、商業施設ベシア三浦店に隣接する引橋側の無料駐車場が整備されて、小網代の森へマイカーの利用が可能となりました。三浦市ではどうぞ自由にご利用下さいとのことです。

特別なお知らせとして、多数の参加者があり実に好評でした 2018 年 9 月に実施した座学と現場研修の「変形菌を探そう」に引き続き、2019 年 10 月 20 日に実施しました「いつでも、どこでもみんなの地衣類」があります。高名な地衣類の専門家で、数多くの著書のある山本好和先生をお招きし、午前中は三崎口駅に近い潮風スポーツ公園会議室で座学の後、小網代の森の現地研修会で学ぶことができました！詳細は、通信 No.19 号をどうぞご覧ください。

会員の皆さま、どうぞ「こあじろの森くらぶ」の行事へ参加して、くらぶの活動をご一緒に楽しめることをお勧めいたします。

祖父川精治（代読 松原あかね）

総会概要

令和 2 年（2020）8 月 30 日（日）

「こあじろの森くらぶ」 第 5 回の総会がリモートで開催されました。リモート出席者 13 名に委任状 45 件を加えて、総会の資格確認がされ、議事に入りました。

30 数年にわたる歴史の中でも初のリモート開催ですが、加藤議長の熟練の進行のもと議事は速やかに審議され、第 1 号から第 6 号までの議案全てが全員一致で承認されました。

二部として当初予定されていた、石塚敏久氏による写真ショー、「新型コロナを吹き飛ばせ！小網代から Paris まで・・・」は残念ながら中止となりましたが、スタッフ、会員の皆さまからの要望が非常に多かった企画ですので、日を改めての開催をお願いする運びとなりました。

また、お忙しい中、委任状の提出にご協力くださった皆さま、総会開催についてのアドバイスをくださった F さまに、深く御礼申し上げます。

橋 美千代

開会のご挨拶

今年の会議、新型コロナウイルス蔓延のために、このようなリモートという形になって、何か新しい形になって、あか抜けして、声もよく聞こえて、よく見えて、いつものスタッフの方たちばかりの総会になってしまいましたけれども、新しい方にもボチボチ入って来ていただいて、賑やかにやってゆけてよかったですね。

本当に、こんな時に、こんなに素晴らしい総会ができてすごく嬉しいです。皆さん、一生懸命練習した甲斐がありまして、何か、皆さんリモートのプロのような感じで座ってらっしゃって、安心しました。本当にどうなることかとそればかりが心配でした。これで、新しい方が入って来ても、いろいろ、直接、ご質問にもビデオを使って顔を合わせて、森の紹介やみんなの話もできそうな感じがして、今までより一層“密”な会になれそうな気がしてきました。

中井さんの詩にもよく歌われているように、森は逃げませんから、本当に、我々が諦めなければ、いつまでも想っていれば、森はいつまでも待っていてくれますので、森でゆっくり皆さんとお会いしながら、虫や鳥や微生物たちと、本当に最近、目に見えない仲間たちもたくさん増えていまして、おかげで虫眼鏡や顕微鏡の出る機会が多くて、すごく楽しいです。

ひとつ私は、今まで夜のカニパト、ホテルの観察会で、星パトができなくてちょっと寂しいですけど、今、夜、木星と土星が並んでいて、昨夜は間に月が入って、夜な夜な望遠鏡で外を見ていました。すごく気流も落ち着いて、木星の模様だとか、衛星の影なんかも木星にぼつんと写って、きれいでした。今晚もいいお天気で、木星・土星が見えると思います。目では見えませんが、確認だけしてください。木星が明るいので、そのうち、夜の観察会で望遠鏡を覗いていただきたいと思いますので、是非、皆さんも健康に留意して、森で会を実施できることを期待して、ご挨拶とさせていただきます。

是非是非、本当に、健康に気を付けて、お会いしましょう。どうもありがとうございます。

高橋伸和

議 事

第 1 号議案 2019 年度活動報告

- 2019.07.16 (火) スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2019.07.28 (日) 小網代の森くらぶ通信 No.17 印刷・発送
スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2019.08.01 (木) アカテガニ遠足下見
- 2019.08.17 (土) アカテガニ遠足、コース安全確認
スタッフ会議 (潮風スポーツ公園)
アカテガニ遠足
- 2019.08.25 (日) スタッフ会議
第 4 回こあじろの森くらぶ総会 (南下浦市民センター 研修室)
議事終了後、会員の須田漢一さんによるスライドショー「森と海辺と大地から」
- 2019.09.22 (日) 通信 No.18 印刷
スタッフ会議 (横須賀市立市民活動サポートセンター)
- 2019.10.20 (日) 第 18 回交流会「いつでも、どこでも、みんなの地衣類」
AM 座学 (スポーツ公園)
PM 観察 (白髭神社周辺)
- 2019.10.29 (火) スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2019.11.02 (土) 交流会下見-1
- 2019.11.06 (水) 第 19 回交流会、縁の会お誘いハガキ発送
- 2019.11.17 (日) 交流会下見-2
- 2019.11.24 (日) 通信 No.19 印刷
スタッフ会議 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
- 2019.12.07 (土) 第 19 回交流会「小網代から相模湾・東京湾の眺望」
(降雨のため、東京湾側の三浦市旧跡巡りに変更して実施)
縁の会 (伊豆島 三浦海岸店)
- 2020.01.12 (日) 第 20 回交流会下見
- 2020.01.26 (日) スタッフ会議 (三浦海岸ジョナサン)
スタッフ研修 (三浦市海岸線)
- 2020.02.02 (日) 第 20 回交流会「恒例 鳥いっぱい谷と海 2020！」
- 2020.02.09 (日) スタッフ研修 観音崎
- 2020.03.01 (日) スタッフ研修 (三浦市海岸線) 雨崎・遠津浜
- 2020.03.22 (日) スタッフ会議 (ベイシア)
- 2020.03.26 (木) 通信 No.20 印刷・発送
- 2020.04 上旬より こあじろの森くらぶプレゼント DVD 企画をスタート
- 2020.04.20 (月) 第 21 回交流会中止のお知らせハガキ発送
- 2020.05.10 (日) スタッフ会議 (ビデオ会議)
- 2020.05.24 (日) スタッフ会議 (ビデオ会議)
- 2020.05.27 (水) 通信 No.21 印刷、DVD 発送 (横須賀市西行政センター)
- 2020.06.10 (水) 第 22 回交流会下見の下見
- 2020.06.14 (日) スタッフ会議 (ビデオ会議)
- 2020.06.25 (木) スタッフ研修 ハンゲショウと変形菌 (光の丘水辺公園)

第2号議案 2019年度決算

収入の部				支出の部			
科目	2019年度予算額	2019年度決算額	差異	科目	2019年度予算額	2019年度決算額	差異
前期繰越金	781,016	781,016	0	通信費	10,000	1,958	8,042
会費収入	64,000	72,000	8,000	交通費	15,000	970	14,030
寄付金収入	200,000	220,940	20,940	事務消耗品費	20,000	35,672	-15,672
				会議費	50,000	53,465	-3,465
				広報費	60,000	81,723	-21,723
				諸手当	140,000	123,440	16,560
				次期繰越金	750,016	776,728	
	1,045,016	1,073,956			1,045,016	1,073,956	

繰越金内訳

ゆうちょ銀行当座預金 212,416

現金 563,752

郵便切手 560

合計 776,728

上記の通り報告します。

2020年7月26日

会計 宮本美織



上記の通り相違ありません。

2020年7月26日 会計監査 竹内晶子



第3号議案 活動計画

会則「小網代の森を楽しむことを通じて、会員の交流をはかる」にそって活動する。

●交流会 5から6回 通信発行 5から6回

●会員に提案して、小網代の森以外での活動を行う 随時

●スタッフ研修 随時

これからの予定（仮案）

10月25日（日） 第23回交流会

12月5日（土） 第24回交流会 終了後希望者は縁の会に出席

2月7日（日） 第25回交流会「恒例 鳥いっぱいの谷と海2021！」

3月～4月 遠足 ニリンソウ（光の丘水辺公園）

4月29日（木・祝） 第26回交流会
交流会終了後「加藤さんの写真とトークを楽しむ会」

6月 第27回交流会 ホタル（県指定の森開放期間に合わせて実施）

第4号議案 2020年度予算

収入の部				支出の部			
科目	2019年度決算額	2020年度予算額	差異	科目	2019年度決算額	2020年度予算額	差異
前期繰越金	781,016	776,728	4,288	通信費	1,958	10,000	-8,042
会費収入	72,000	64,000	8,000	交通費	970	15,000	-14,030
寄付金収入	220,940	200,000	20,940	事務消耗品費	35,672	20,000	15,672
				会議費	53,465	50,000	3,465
				広報費	81,723	60,000	21,723
				諸手当	123,440	140,000	-16,560
				次期繰越金	776,728	745,728	31,000
	1,073,956	1,040,728	33,228		1,073,956	1,040,728	33,228

第5号議案 スタッフ ※ 代表をおかず、スタッフ会議の多数決により運営する。

高橋伸和 浪本晴美 仲澤イネ子 橋美千代 菅野哲夫 祖父川精治 中井由実 鈴木カヲル
別府史朗 松原あかね 木皿直規 山本述子 須藤伸三 宮本美織 倉内ちひろ 三本保子（順不同）
会計監査 竹内晶子

第6号議案 その他

新たな動議はありませんでした。

●●●● 総会にコメントを寄せていただきました ●●●●

A.K いつもありがとうございます。他のグループの10倍以上かけて小網代の谷を下りるのは楽しいですね。小さな自然も虫めがねで見ると大自然です。

K.K “こあじろの森くらぶ通信”いつもありがとうございます。イベントはなかなか参加できませんが、来年4月29日長男と参加できること、たのしみにしてます。

H.A 心おきなく、森の散策できる日を祈っています。それまで、現地で見守っている皆様を応援しています。

C.K アマビエのDVDありがとうございました。小網代をじっくりみることができました。

K.S 自分たちで自由に使える部屋をもちたいですね。いつもごくろうさまです。

A.S いつもお世話さまです。こあじろの森くらぶ通信、楽しく読ませて頂いています。ありがとうございます。

M.S ご苦勞様です。森の散歩も年数回になりました。

K.I なかなか参加の機会得られず残念です。

S.Y いつもご苦勞様です。お手伝いも出来ず恐縮しています。M様によろしくお伝え下さい。

T.I スタッフの皆様、コロナにはお気を付けて下さいね。又、暑さにもご注意下さい。

K.N 3・4年前にH.Nさんに案内していただいた、こあじろの森を思い出します。我が家の庭にもはんげしょうが一輪咲いていました。もう年齢的にこあじろの森には行けませんが、くらぶ通信で味わいました。これからも沢山の方々にご案内して下さい。

E.F 毎号のレターを楽しみにしています。

K.T いつも御連絡を有難うございます。楽しみに読ませて頂いています。残念乍ら、夫も私も森
T.T を歩くことが出来ませんが、皆様方のお働きに感謝しています。有難うございます。

K.E 昨年から台風と新型コロナウイルスで3回も「全面閉鎖」があったのですね。でも「小網代はずっとここにある（中井由実）」と、この状況で勇気づけられます。森くらぶのますますのご活躍に期待しています。

H.F くらぶ通信をいつも楽しく読ませて頂いています。異常気象にコロナ禍に、人類が翻弄されているのに、自然界の小さな生命のなんと逞しいこと!! すばらしいです。

H.S 皆様、コロナに負けず頑張ってください。

A.I 会員にはなっていないもなかなか出席できません。ほんとうは、どんな方々がいらっしやるのか気になる所ではありますが……近くて遠いこあじろの森。でもそこに「こあじろの森」があると思うだけで、なぜか心が安らぐおもいです。

K.K あまり参加出来ませんが、いつも有難うございます。孫といつか参加させていただきます、よろしくお願いします。

K.S 過日、ハンゲショウを家の近くでみつけ、小網代でみたたくさんのハンゲショウを思い出しました。退職し、少し時間にゆとりが出来たので、またいろいろなイベントに参加させていただきたいと思っています。

Y.F いつもお世話になります。

R.R ご連絡、ありがとうございます。今後共、よろしくお願い申し上げます。皆様にお会いできる時を楽しみして居ります。

K.S カナカナの声につつまれた入江にて、ひねもすのんびりできたらなあ、と思い重ねるこの夏です。コロナの難儀が続きますが、みなさま、どうかつつがなくお過ごし下さいませ。

M.K コロナ暑さ、私用等で、なかなか参加できず残念です。また散策をご一緒できる日を楽しみにしております。

K.M 昔、高橋別荘前にあった、クーラーボックスのようなしくみは、むずかしいですかね。

会員同士がつながるステーションみたいな BOX でした、楽しい思い出です。干潟のノートだけは、今もスタッフの M.M さんが大切に保管しているのですけれど、ホームページ上で再現する工夫があると良いですね。

S.S いつもお世話になっております。よろしくお願いします。

S.A 2号議案支出の部で通信費、交通費がすごく少ないがこの位でやれるのならば第4号議事の予算額を前年の数字に合わせず、それなりに少なく計上したら良いのではありませんか？

毎月のスタッフ会議に参加された方に交通費又は昼食代をくらぶから支出させていただいております。交通費又は会議費の支払いと言うことで、長年進めてきました。両方にまたがる支出はないので、今期は少ない額になっておりますが、今後、コロナの様子などにより、この配分が変わることがあり得ると考えて昨年通りの予算としました。なお。交流会などで、森へ行くときにはスタッフ会議の有無に関わらず、個人の交通費としております。

K.S どのような時も小網代はすごい！通信の発送もいつもありがとうございます。

S.T 次年度もよろしくお願いいたします。

Y.N 大変な時期にもかかわらず、綿密に準備していただき、ありがとうございます。早くみんなで森に行けるようになりたいですね。

●●● 新入の会員様からご挨拶をいただきました ●●●

この度(8/30)新規加入させて頂いた M.S(上大岡在住)と申します。定年後、海・川や里山等の自然観察に興味を感じるようになりました。ただ、知識は素人以下ですので、様々な方のお話しをお伺いしながら、まったりとそれらを愛でるのが自分には合っていると思っています。

小網代の森については、数回ほど歩いたことがあります、だいぶ以前の話で、今回久しぶりにベテランの K さんに標準コース(?)を丁寧に案内していただく機会に恵まれ、心より感謝しております。本当にありがとうございます！

余談になりますが、その中でまぐろ切符のお得情報等も教えてもらい、次回から早速実践してみようと考えています。

また、交流会後のお茶・懇親会等にも関心がありますので、皆さまからのお誘いを心よりお待ちしております。それでは今後、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 三浦半島の植物

名前も姿もキクのようなですがキクの仲間では無く、花びらのように見えるのが、実はがく片だったり、優しい雰囲気の中に毒を潜めていたり、謎めいて捉えどころのない植物です。まるで、知らない間に人々を虜にしてしまう魔女のよう。可憐な姿に魅せられて、つい見入ってしまうのは危険かもしれませんね。

シュウメイギク(秋明菊) 2011 年 10 月



画：野内真理子

随想 小網代てんてん (41)

イボタロウムシ

須田漢一

「これはイボタロウムです。」

いぼたろう……？ 疣をつけた太郎のとか。昔話の人物のことか。それとも童話かコミックにある話か、なんてことを想ってみた。

天神島（横須賀市・佐島）の自然観察会で、イボタノキに引付いた、綿状の白い塊である。

モクセイ科イボタノキは、漢名で白蠟樹、または水蠟樹とも呼ばれ、山野の林の縁などに生えている落葉低木で、高さは三メートルほどになり、細い枝がごちゃごちゃと分かれている。花は白く、小さい。樹皮は灰白色で、ところどころに刺^{とげ}が出ている。北海道から九州まで普通に見られる木で、リラ、ムラサキハシドイとも呼ばれる。欧州原産のライラックは、イボタノキにつぎ木して増やすといわれる。

その木に寄生する虫が、イボタロウムシである。イボタとは「疣^{イボ}取り」でイボトリ

ノキがイボタノキに転じたもの、という。木へ灰白色に付いているものは蠟が引付いたもので、このロウが疣取りに効果があったらしい。

このロウを作ったのは、イボタロウカタカイガラムシの雄の幼虫が集まって、体^{からだ}からロウを出し大きな塊にする。このロウを“いぼたろう”という。

イボタノキからイボタ蠟を製造するには、白い粉を木から削りとって集め、これを鍋に入れ、火にかけて煮出す。すると、蠟は溶けるので、布でこし、冷水の中に移す。冷えた蠟は白く塊^{かたまり}ってくる。それを集める、という大変な手間のかかる仕事だった。

以前、三浦半島で、蠟のたくさん付いたイボタノキから採集した人によると虫一千五〇〇匹に対し、わずかに一から二グラムの収穫しかなかった、という。そうしたことから、純粋のイボタ蠟だけでローソクを作るのは大変で、ハゼノキやウルシなどの木蠟に混ぜて量を増やした。

現在は“石ロウ”という、石油を原料とするパラフィンロウが需要の大半を占めて

いる。

かつて、カイガラムシの作る蠟を、人は医薬品、工業製品などに利用して来た事を忘れてはならない。身の囲りにこうした昆虫が居る事を、多くの人は意識していない。私もイボタロウという物質を見るまでは、このことは何も知っていなかった。そこで思ったのは、昆虫たちは、植物と共に、地球上の現在^{いま}ある生命^{いのち}に欠かせない者であること、それは、人にとっても必要不可欠な生き物である、といえる。

なかでも昆虫は、地上や淡水の生態系^にのなかで、数多くの役割を担^{にな}ってくれている。それなのに、昆虫の殆どは名前すら知られていないのが現実である。昆虫に対して、奇妙で恐ろしい、刺されたら毒がある、と人は偏見^{まなざし}の眼差しで見ている（人に対しては、そうした差別が現在、問題視されているが）。

私たちは昆虫に秘められた、その能力を知る、とやたらに殺虫剤を振り掛けたり、見つける、とすぐに殺したりする行為はできない。ほとんどの昆虫は、人を食べてやろう、などと襲^{おそ}ってはこないのだから――。

2020.9.10 祖父川精治

横須賀市では東京湾側の大津海岸から観音崎の手前、走水海岸までの海岸線の護岸を高潮対策として、改修改良工事を施行してきた。その後、護岸上を歩行者専用の「うみかぜの道散策路」としている。護岸は2段構造で、波浪の激しい時は陸側の護岸上を歩行するようにとしている。

また、JR横須賀駅から前半は市街地を歩行し、大津海岸を経て観音崎までを海と緑の10000メートルをプロムナードのウォーキングコースとして市民に推奨している。

遠く霞む房総半島の山々、おだやかな青い海に浮かぶ数多くの釣り船。白い豪華客船や超巨大なコンテナ船に目を見張る。

京急大津駅から潮の香に誘われるように、国道 16 号を渡った先に小規模な大津漁港。そこから限りなく直線が続くような、プロムナード護岸へ出る。左には緑の猿島が浮かんでいる。東京湾では唯一の自然島で、明治時代から首都東京の守りの要として長期間立ち入り禁止の軍事施設であった。

「釣り禁止」の標識があるのに護岸上から釣りを楽しむ人たちがいる。それだけに魚影が濃いのである。馬堀海岸の由来について、荒馬が馬蹄で土手を掘ったら清水が湧出したという「蹄の井」伝説による。

やがて、横須賀市水道の走水水源地。ここは良好な地質構造によるものか、文字通り地下水に恵まれた所である。明治41年「1908」に完成した鉄筋コンクリート建造物で、国登録有形文化財。「横須賀軍港水道浄水地、明治四十一年九月竣工」の鉄製プレートが貴重である。3月下旬からの桜花の開花期には水道局施設内を一般に開放している。また、おいしい走水の自然水を味わうこともできる。

急な車道を行くとそこは、国土交通省選定の「関東富士見百選」の標識があるように、遙か遠くに富士山を望み眩い横須賀港の大パノラマが広がっている。西側の小原台には、約 1700 名の学生を擁し幹部自衛官を育成する防衛大学校がある。

走水漁港を見て、狭い寺町風の家並が続く旧道へ進む。走水神社の祭神は日本武尊と弟橘姫命。境内には走水の名水、背後の高台には明治時代に活躍した東郷、乃木將軍他多数の軍人の名を刻んだ歌碑が立っている。

観音崎京急ホテルの先に白亜の横須賀美術館がある。屋上はおだやかな東京湾を望むすばらしい展望台となっている。明るいテラスでは名画の中にいるような気分で食事が楽しめる。

磯遊びする子供達を避けながら、石畳みの遊歩道をぐるりと岬先端を廻りこむ。古くは仏崎といい墓石群や観音洞窟跡を見る。道標に従い灯台入口から急な石段坂を登る。 観音崎灯台は明治2年(1880)わが国で初の洋式灯台として点灯したもので、現在のものは3代目である。長いトンネルを抜けると、そこは県ビジターセンターと観音崎自然博物館が並んでいる。透明度の高い海岸から、近くの岩礁には多数のウミウが確認できる。





小網代を詩う

秋だね

中井 由実

暑かった数か月

ホテルもアカテガニも見に行っていないから

夏を過ごした実感もないのだけれど

そろそろ太陽が

日本を照らし続けるのに飽きてきたようだ

いつの間にか

風が心地よく肩をなでる

小網代の森も谷も川筋も

とつくに夏じまいを始めているのだろう

今年 人間達は奥手なまま

とりあえず目を閉じて

浮かぶ風景の中を駆け巡る

リモート総会

中井 由実

思い思いのデバイスを掲げ

個々にディスプレイに向かう

そこにはいつもの仲間達

森で会うのとは少し違う

くつろいだスタイルで

皆元気そう

笑顔を見交わして笑い合う

集まらない、接しない、しゃべらない

そんな新ルールが

私たちをこんなにも近づける

ざまあみろ コロナ



仲間だった

どこで会っても

彼の向こうにはいつも海が見えた

少し水が引いたイギリス海岸で

砂粒の間から

もっと小さい貝を見つけだしては驚かせてくれた

色彩鮮やかなウミウシを

次々と教えてくれた

森の歴史を語る声は大きくはなかったけれど

その眼の奥には海が映っていた

深い色の海が

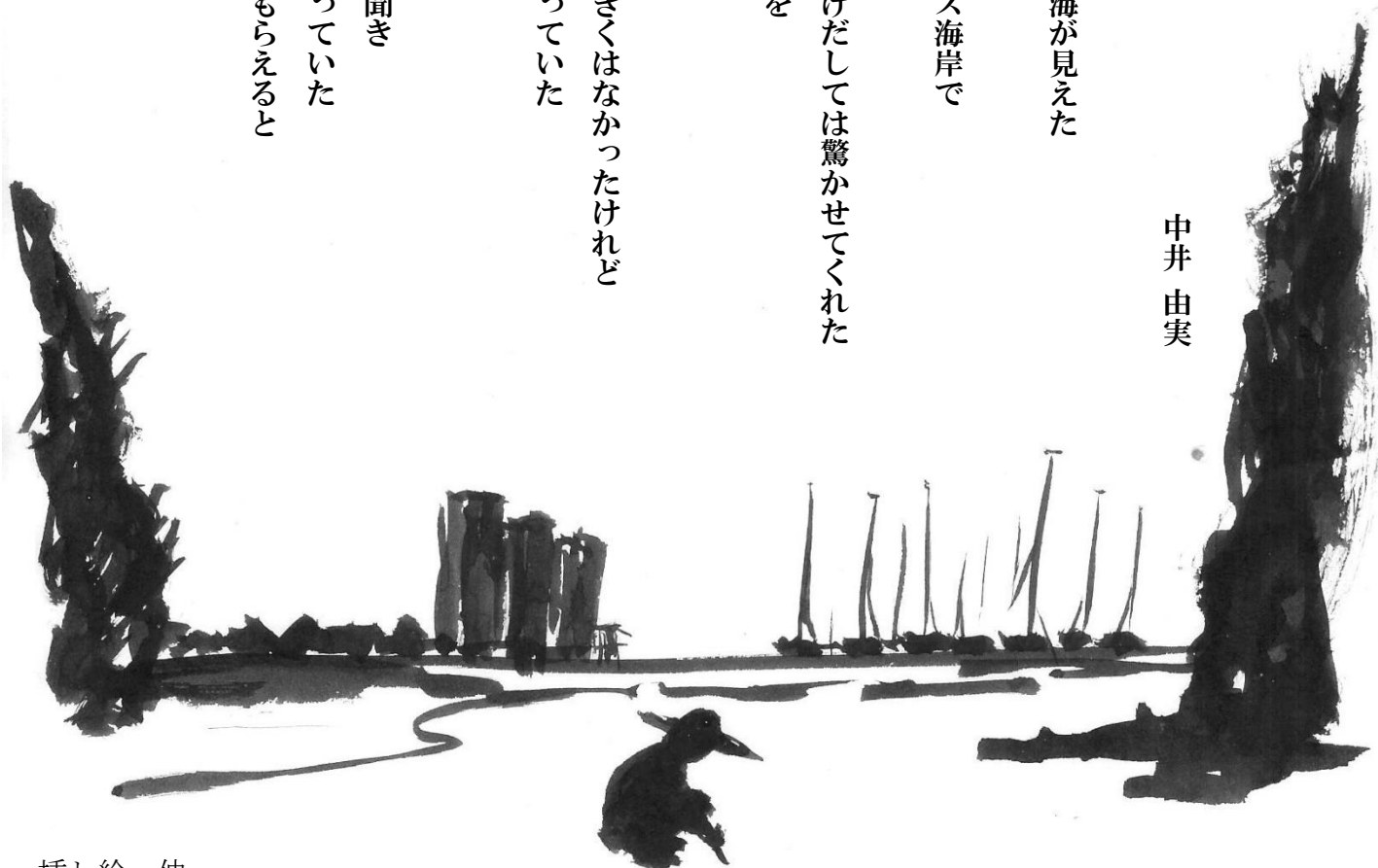
貝の本を著していると聞き

誰もがワクワクして待っていた

彼の新しい海を見せてもらえると

そんな 仲間だった

中井 由実



小網代の森NEWS

スタッフの活動

2020.07.26(日) 通信 No.22 印刷 (横須賀市立 市民活動サポートセンター)
 2020.08.09(日) スタッフ会議(リモート) 20:00～
 2020.08.16(日) スタッフ会議(リモート) 20:00～
 2020.08.23(日) スタッフ会議(リモート) 20:00～
 2020.08.30(日) 第5回総会 15:00～ (リモート開催)
 2020.09.06(日) スタッフ会議(リモート) 20:00～
 2020.09.20(日) スタッフ会議(リモート) 20:00～

ご寄付ありがとうございます

木村ちよの様、佐藤美枝子様、鈴木カヲル様、仲澤イネ子様、廣川ひで子様、松林伸子様 (五十音順)
 以上の皆さまからご寄付をいただきました 大切に使用させていただきます。

第23回交流会のお知らせ

小網代の森を感じよう！

繰り返す長い閉鎖期間のあと、7月12日によりやく今年2度目の交流会を実施することができました。
 久しぶりの森で、久しぶりの人と顔を合わせることができて、一同猛暑なにするものぞの大盛り上がり。
 季節は移って深まりゆく秋、ゴンズイ、ガマズミ、クサギにムラサキシキブ、ビナンカズラやサルトリイバラ。色々な草木の実が色づき始めている筈。ゆっくり歩いて、猛暑の夏を乗り越えた生きものたちの姿を観察したいと思います。

今回も三崎口駅前からバスを利用して、ゆったり森を歩きます。干潟に着く頃には楽しいサプライズがあるかもしれません。

開催日：2020年10月25日(日) *荒天の場合は中止します

お持ち合わせ：10:00 三崎口駅前 14:00 頃散会

持ち物：お弁当、飲み物、図鑑・双眼鏡などお好みの観察グッズ

(マスク着用必須。また密を避けるため、日傘などの携行をおすすめします)

対象：「こあじろの森くらぶ」会員とご家族、ご友人

* 保険はありませんので、ご参加は自己責任でお願いします。

* スズメバチの活動シーズンです。攻撃されにくいお仕度をお願いいたします。

(ex.黒っぽい服装・帽子を避ける、甘い匂いのする香水や整髪料を使用しない、飴やジュースを口にして歩かない……)

* 新型コロナウイルスの感染状況により、中止・変更となる場合はHP、メールなどでお知らせします。またメール・電話によるお問合せも受け付けています。(下記枠内の連絡先をご参照ください)

神奈川県から小網代の森についてのお知らせがありました

小網代の森へ行く際は、神奈川県ホームページを確認してからお出かけください。

神奈川県ホームページ

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/d2t/kankyo/p820028.html>

オオスズメバチが出没しているため、現在、「**引橋入口**」から**一部区間の立入を禁止**させていただいております。

こあじろの森くらぶ通信 No.23

2020年10月4日発行

こあじろの森くらぶ Koajiro Woods Club

所在地：〒238-0101 三浦市南下浦町上宮田 1528-75

連絡先：info@mori-club.com (高橋)

046-889-0067 (仲澤)

URL : <http://www.mori-club.com>